安全データシート

整理番号【375－9】

制定日　2008/12/24
改訂日　2025/07/17

1.化学品及び会社情報

化学品

化学品の名称　酵素系中性浸漬剤

供給者情報

会社　サラヤ株式会社

住所　大阪府大阪市東住吉区湯里2－2－8

担当部門　営業本部

電話番号　06-6797-2525

緊急時連絡番号　06-6705-1013

推奨用途及び使用上の制限:

推奨用途:自動洗浄機使用前の食器や器具などの浸漬洗浄。業務用浸漬用洗浄剤。

使用上の制限:推奨用途以外の用途に使用しない。

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類:

健康有害性:

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:区分1

呼吸器感作性:区分1

皮膚感作性:区分1

生殖毒性:区分1A

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分2(肝臓)

環境有害性:

水生環境有害性 短期(急性):区分3

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語:危険

危険有害性情報:

アレルギー性皮ふ反応を起こすおそれ／重篤な眼の損傷／

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ／
生殖能または胎児への悪影響のおそれ ／
長期にわたる、または反復ばく露による肝臓の障害のおそれ／水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
(換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

皮ふに付着した場合:多量の水で洗うこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察、手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察、手当てを受けること。
特別な処置が必要である(4. 応急措置を参照のこと)。
皮ふ刺激または発疹が生じた場合:医師の診察、手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

成分:

＜ラベル表示内容＞
ソホロリピッド(界面活性剤)、非イオン界面活性剤、デンプン分解酵素、
タンパク質分解酵素、酵素安定化剤

化学名または一般名:

エタノール(CAS NO,64-17-5)5%未満含有

4.応急処置

皮膚に付着した場合:

直ちに多量の水で十分に洗い流す。

眼に入った場合:

(コンタクトレンズは外し)直ちに流水で15分以上洗い流す。

その後、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:

直ちに多量の水を飲ませる。無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

適切な消火剤:

泡、粉末、炭酸ガスなど。

使ってはならない消火剤:

情報なし

特有の消火方法:

通常は燃焼しないが、万一、周辺の状況により燃焼した場合は、上記の消火剤による。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

作業時には、保護眼鏡、保護手袋等を着用し、接触を避けること。

環境に対する注意事項:

原液の環境への放出は避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

少量の場合は、布切れ等で拭き取り、大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:

技術的対策:

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項:

① 作業時は状況に応じて、保護メガネ、およびゴム手袋を着用する。

② 浸漬状態でこすり洗いなどをし、泡立ちが目立つ場合は、食器・器具等をすすいでから自動洗浄機に投入する。

③ 必ず使用量の目安を守り、希釈して使用する。濃い濃度で使用すると、洗浄機での泡がみの原因になる。

④ 使用後は、手をよく水で洗い、クリーム等で肌の手入れをする。

⑤ キャップを開けるとき液が飛び出す恐れがある。

また、容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。緩んでいると、
液がはねて目や皮ふにつく恐れがある。

⑥ 用途以外には使用しない。

⑦ 他の薬剤・洗浄剤とは混ぜない。

接触回避:

情報なし

保管

安全な保管条件:

極端に高温または低温の場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
小児や認知症の方の手の届くところに置かない。
倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。

安全な容器包装材料:

専用のプラスチック容器を使用する。

8.ばく露防止措置及び保護措置

許容濃度等:設定されていない。
設備対策:情報なし
保護具:必要に応じて保護メガネ、炊事用ゴム手袋を着用する。

9.物理的及び化学的性質

物理状態:液体
色:淡黄色～黄色、透明～くすみ
臭い:原料臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲:情報なし
可燃性:情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:情報なし
引火点:情報なし
自然発火点:情報なし
分解温度:情報なし
pH:6．0～8．0
動粘性率:情報なし
蒸気圧:情報なし
密度及び/又は相対密度:1．04(20℃)
相対ガス密度:情報なし
粒子特性:情報なし

10.安定性及び反応性

反応性:常温においては安定である。
化学的安定性:常温においては安定である。
危険有害性反応可能性:情報なし
避けるべき条件:情報なし
混触危険物質:情報なし
危険有害な分解生成物:情報なし

11.有害性情報

急性毒性:分類できない
皮膚腐食性/刺激性:分類できない
眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分1(重篤な眼の損傷)
呼吸器感作性又は皮膚感作性:
区分1(吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ)
区分1(アレルギー性皮ふ反応を起こすおそれ)
生殖細胞変異原性:分類できない
発がん性:分類できない
生殖毒性:区分1A(生殖能または胎児への悪影響のおそれ)
特定標的臓器毒性(単回ばく露):分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):
区分2(長期にわたる、または反復ばく露による肝臓の障害のおそれ)
誤えん有害性:分類できない

12.環境影響情報

生態毒性:水生環境有害性　短期(急性):区分3(水生生物に有害)
残留性・分解性:
(1000倍希釈液にて)

全窒素	2．8mg／L(理論値)
COD	68．8mg／L
BOD	870mg／L

生態蓄積性:情報なし
土壌中の移動性:情報なし
オゾン層への有害性:情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌撹乱物質
(いわゆる環境ホルモン)と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13.廃棄上の注意

化学品，汚染容器および包装の安全で，かつ，環境上望ましい廃棄，またはリサイクルに関する情報
「7．取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
残余廃棄物:焼却炉にて少量ずつ焼却する。大量の水で希釈し処理する。
あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。
使用済容器:管轄自治体のルールに従い、処理する。

14.輸送上の注意

「7．取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
国際規制
国連分類:該当なし
国連番号:該当なし
引火性液体に該当しない。
運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければ
ならない。

15.適用法令

労働安全衛生法(安衛法):
名称等を表示すべき危険物及び有害物　法第57条、施行令第18条
名称等を通知すべき危険物及び有害物　法第57条の2、施行令第18条の2
・エタノール 4．6%
名称等を通知すべき危険物及び有害物　法第57条の2、施行令第18条の2
・サチライシン　1%未満
化学物質管理促進法(PRTR法):該当しない
毒物及び劇物取締法:該当しない

16.その他の情報

参考文献
NITE－Gmiccs　GHS混合物分類判定ラベル／SDS作成支援システム

・本SDSはJIS Z 7253:2019に準拠しています。
・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、

情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。